

事務事業名	(仮称)加茂BSスマートIC整備事業		所属部	建設部	所属課	都市計画課
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	国県事業G	
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	坂田 洋一	
	目的・対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。		
	基本事業	〈034〉道路の新設・改良		電話番号	0854-40-1064 (内線) 2461	
目的・対象	道路利用者	意図	安全で便利に移動できる。			予 算 科 目
				会計	款	大 事 業 名
				014008		国道・県道整備事業
				項目	中 事 業 名	
				101501		高速道路整備関連事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
高速道路利用者	市内IC数を増やし、高速道路利用者の利便性を高くする
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H29 年度 ~ R4 年度)	(事務事業の概要) (仮称)加茂BSスマートIC開設に向けて、関連市道、バスストップを整備する。 <input type="radio"/> 市道神原企業団地1号線 延長 L=550m、幅員W=9.75m
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動) ・加茂インター線工事委託 1式 ・道路整備工事 L=375m(神原企業団地1号線) ・調整池設置工事 ・バスストップ待合所工事管理業務、建設工事、外構・照明工事 ・標識設置工事	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 国土交通省、島根県、NEXCOと協議をしながら進めた。 建設コスト削減を目指して、設計に取り組んだ。 NEXCOとは毎月担当者会議を開催し、工程調整等を行い、事業促進を図った。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度 (実績)	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (計画)
ア 市内IC数	箇所	3	3	4	0
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)	
【地方債】合併特例債 【R3年度繰越】 120,489千円 本工事費119,544千円 委託費852千円 事務費93千円 【R4年度】 264,869千円 本工事費3,613千円 委託費261,256千円	財源内訳	国庫支出金	千円	151,766	165,109	150,920	0
		県支出金	千円				
		地方債	千円	95,300	199,500	191,400	0
		その他	千円	4,700	16,197	26,285	0
		一般財源	千円	1,481	10,813	16,753	0
事業費計		千円	253,247	391,619	385,358	0	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	R4.8.7に「雲南加茂スマートIC」を供用開始した。
② 事業実施するうえでの課題	国土交通省・NEXCOと協議しながら、建設コスト、ランニングコストを軽減できるよう検討し、協議・整備を行った。 企業団地拡張とも残土の有効利用等連携を図り、コスト削減に努めた。
③ 課題解決に向けた改革改善等	スマートIC整備促進のほか、スマートICの利用促進と活用(企業団地拡張等)に向けた取り組みも必要である。